

報道関係者各位

2023年5月18日
中央労働災害防止協会

将来を担う学生に安全衛生の学びを 中災防は九州工業大学の 「安全衛生コーディネーター制度」に 積極的に協力しています

中央労働災害防止協会（中災防：会長 十倉雅和（日本経済団体連合会会長））は、国立大学法人九州工業大学（福岡県北九州市：三谷康範学長）と連携して、安全衛生に関する知識の産業社会への浸透に資する取り組みをスタートしました。5月16日（火）に戸畑キャンパスにおいて（飯塚キャンパス、若松キャンパスへは講演を web 配信）、同大の学内資格制度「安全衛生コーディネーター制度」における教育の一環として、学部生・大学院生約 154 人の皆さんに労働安全衛生に関する講義を行いました。

「安全衛生コーディネーター制度」は 2023 年度より同大が開始した安全衛生教育認定制度です。「安全衛生管理体制基礎」「事故・ヒヤリハット基礎」「感染症基礎」「メンタルヘルス基礎」「喫煙の害と健康」等の所定の教育科目を受講し知識を習得します。中災防はこのうち専門家講演「安全衛生活動基礎」を担当し、法律に定められている安全管理士の資格を有する職員が教壇に立ちました。

講義の内容は「働く方が安全に働ける環境づくりの基本」について。未だ経験したことのない労働現場の安全について、不安全な状態の特定の仕方やヒューマンエラーの対応など、学生にも分かりやすい事例を挙げながら講義が展開され、学生は真剣なまなざしで聴講していました。（裏面に続く）



写真：講義の様子（写真提供：国立大学法人九州工業大学）



写真：講義を担当した当協会職員（写真提供：国立大学法人九州工業大学）

安全、環境、心身の健康を担う「安全衛生」は、教育、研究において常にリスク管理が必要な工学系大学において非常に重要です。安全衛生コーディネーターとなった学生は、在学中に学内の安全衛生のリーダーとなっただけでなく、社会に出てもその知識と経験が企業や組織の中で生かされ、働く人の安全と健康を守るキーパーソンとして活躍されることが期待されます。

学生のみなさんは各教育科目の講義や実習を終えた後、確認テストを受験し、「安全衛生コーディネーター」として認定されます。さらに意欲の高い学生にはステップアップとして「安全衛生マイスター」の道も用意されています。

中災防では今後も九州工業大学での本制度の展開をサポートしてまいります。また、学生に安全衛生への関心を持ってもらい、知識習得の機会を設けたいと検討している大学等教育機関と積極的な協力をすでに進めています。今後このような取り組みが広がっていくことを期待しています。



●中央労働災害防止協会（中災防）

所在地 東京都港区芝5-35-2（本部） URL <https://www.jisha.or.jp/>

1964年に労働災害防止団体系に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。



●国立大学法人九州工業大学

所在地 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1 URL <https://www.kyutech.ac.jp/>

九州工業大学は、1909年の私立明治専門学校設立に始まり、「技術に堪能なる士君子」（単に技術に精通するだけでなく道義心のある人格者）の養成を基本理念に数多くの技術者を輩出してきました。福岡県内の3キャンパス（2学部、3大学院）で約5,600名の学生が学んでいます。

「安全衛生コーディネーター制度」の詳細については以下にお問い合わせください。

お問合せ先：国立大学法人九州工業大学 キャンパスライフ支援本部 准教授 青木 隆昌先生
電話 093-884-3537 E-mail aoki-t@jimu.kyutech.ac.jp

※この資料は、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、厚生日比谷クラブ、鉄鋼研究会、福岡経済記者クラブに配布しています。

【担当】 技術支援部長 樋口 政純

【照会先】 総務部 広報課長 高須 幸治 電話 03-3452-6542 E-mail koho@jisha.or.jp